

さくら第521号

令和 5年5月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7: TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp

やせ蛙がえる 負けるなま 一茶いっさ これにあり
 季語きご 二 やせ蛙がえる
 小林一茶こばやし いっさ

本気
 なごもいから
 本気でこころ
 本気であれば
 たのしいから
 本気であれば
 つがれないから
 つかれない
 つかれないから
 さわやかだから
 みつと

『好きになるまでやり続けよう』

『好きこそもの上手なりけれ』という例えは安土桃山時代に豊臣秀吉の茶道の師として活躍した千利休のおしえといえます。

『器用さと稽古と好きのそのうちで、好きこそもの上手なりけれ』と、自分から好きと思ひ、すすんで行うことはうまくできるといいます。

今から約2500年前に、中国の思想家である孔子(こうし)が述べたというのが、学ぶことにおいてその知識を知っているということは、学ぶことを好きな人間には及ばない。学ぶことを好きな人間は学びを楽しんでいる人間には及ばないといえます。

さて、中学生になるとこれまでの小学生の時とは大きく変化し、授業内容がむずかしくなります。教科制なので教わる先生は担任が一人ではほとんどを受け持つことはなく、教科によって違うので、いろいろな先生とのつながりが増します。

好きな学習とそうでないことも生じます。先生との相性がよいのかこれまで気のすすまなかった勉強が好きになってきたという声を耳にしますが、逆になることも聞いたりします。

定期考査や期末考査での平均点が目標より下になる要因として、授業の好き嫌いが影響することがあるようです。

嫌いな勉強の点数を上げようとしてもなかなかアップしないが、好きな学習には興味と関心がわき、自分からすすんで予習や復習をおこない授業中もしっかり聴いていますね。

ところで、珠算能力検定試験の種目はかけ算・わり算・みとり算の3種目を6級以上は30

分間で一括計算し、3級以上なら合計点が300点満点中240点以上で合格します。

全珠連検定試験の1級～3級の種目は、かけ算・わり算・みとり算の3種目は必ず審査対象ですが、伝票算・見取り暗算・応用計算の種目は2種目が審査対象になり150点満点中100点以上で合格します。3種目中、苦手で点数が低い1種目は審査対象外となります。

競技大会では種目が、かけ算・わり算・みとり算・みとり暗算の4種目の合計点のみで順位が決まります。

つまり、検定試験では各種目とも合格するための最低点数が決まっていますが、競技大会では合計点のみで順位が決まるので、得意な種目でカバーすることも可能ですね。

キライな事をなくそうという試みはいろんな分野でも行われます。毎日の食事でも、栄養価があるから、身体によいから、筋肉や骨を丈夫にするから食べなさい、飲むようにと進められてもキライだとなかなか箸が進まないです。

キライな学習は聞いていてもおもしろくない、楽しくないから耳に入らない。その状態が続けばさらにキライになりかねません。

好きだからといって偏った食べ物ばかりだと身体によくないことは確かです。このような事柄の繰り返しで毎日がすぎるのでしょうか。

検定試験では合格点があるので最低の点数はとらなければなりません、そうでないことについては好きなこと、得意なことをのびし合計点をアップさせる方法もあります。

好きなことをがんばっているとキライだと思ふことにも気が向き、力いっぱい頑張っているといつしらずアップすることが多くあります。

あれもこれも伸ばしたいという気持ちは大事ですが、なかなか大変ですが、好きなことはやる気も続きます。

『ないものねだりよりも、あるもの磨き』というように、好きなことを全力でやり続ける、磨いていきましょう。気の向かない事でも、好きだと声に出し続けるとやがて好きになりよい結果がえられます。あきらめずやり続けることです。